

学校教育目標

- 【知】自己を見つめ 自ら学ぶ
【徳】思いやりのある 豊かな心
【体】強い意志 たくましい体

【平成23年4月1日改訂】

1. 目指す生徒の姿

国際社会においては明確な意思をもったコミュニケーション力が不可欠である。情報社会において適切な活用判断力もまた然り。既得経験の通用しない・しづらい未来に向けて必要な力は、他者と協働することを含めた「自分で何とかする力」であると考え。

本校生徒は規範意識が高く、何においても誠実にやり遂げようとする。しかし白紙の状態から自ら適切なゴールを設定し、そこへの道筋を描く力、確固たる意志を貫く力はまだ不足している。自己を知り、道を切り拓き、たくましく前進する生徒の育成を目指す。

3. 重点教育目標 自らの学びと暮らしをデザインできる生徒の育成

4. 経営の視点

- (1) 教育課程
キャリア教育を主軸とした
系統的な総合的な学習の時間
- (2) 組織運営
学級を基盤とした組織的な運営
教職員のコミュニケーション
- (3) 危機管理
安定した防災教育 交通安全
- (4) 生徒指導
緊張と緩和
不登校対応
補助的に生かすピアサポート
保護者との連携
- (5) 特別支援教育
全生徒への個別対応
- (6) 研修
身についた力が実感できる研修
- (7) CS（小中一貫教育）
学力向上での連携
- (8) 働き方創造
意図的・計画的な業務遂行
私生活の充実
- (9) 学力向上
家庭学習の向上～1日の学習サイクルの確立
学びのデザイン力育成
- (10) 体力向上
運動習慣の定着
持久力の養成（たくましい心）

5. 令和7年度の重点

- 学級（学年）経営の充実
 - ・担任業務の分業化～チーム担任制
- 家庭学習の充実
 - ・一日の学習サイクルの中の「家庭学習」を次の日の授業につなげる具体的方策の確立
- 私生活の充実（生徒も教師も）
 - ・心理的安全性の確保
- 地域連携
 - ・保護者からの信頼獲得

6. 具体的な共通実践

1. すべての活動において、目的と目標を明示し、意図を理解・納得させる（目的の明確化）
2. 生徒が考える時間の確保（待つ教育）
3. 即時・オープンなコミュニケーション

7. 数値目標

全学年で全国学力・学習状況調査 質問調査の下記の項目と同内容のアンケートを3回（4月・8月・12月）実施し、肯定的評価の割合を10ポイント上昇させる。

- (20) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- (30) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- (35) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか